

# SYLLABUS ( 英語コミュニケーション I )

単位数	3	履修学年	1年	履修学科	普通科・電気電子科
使用教科書	English Communication I ( 三省堂 )				
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身につける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Lesson1～Lesson3			<ul style="list-style-type: none"> <li>○異なる文化や環境のことわざから、その国や地域に特有の考え方や人の生き方を見る。</li> <li>○岩合さんの動物に対する姿勢や、彼の学びから、我々の生き方を考える。</li> <li>○宇宙食の変遷を身近に考える。</li> </ul>	
2 学期	Lesson4～Lesson8			<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文のあらすじを正確に理解する。</li> <li>○完了形、比較、不定詞、原形不定詞、関係代名詞、関係副詞、分詞の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。</li> </ul>	
3 学期	Lesson9～Lesson10			<ul style="list-style-type: none"> <li>○OSDGs に関する問題を学び、さらにどのような課題があるのかを調べ、自らが取り組める行動について具体的に考える。</li> <li>○発表活動を通して内容の進化を図るとともに、プレゼンテーションのスキルを身につける。</li> </ul>	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動</li> <li>・ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	<p>○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習) 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。</p>				

# SYLLABUS ( 英語コミュニケーション I )

単位数	3	履修学年	1年	履修学科	機械建築工学科
使用教科書	All Aboard! English Communication I ( 東京書籍 )				
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や分、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を毒み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身につける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Pre-Lesson1～Lesson4			<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語学習、和食、外国の学校など生活や文化に関する文章を読み、知識を深める。</li> <li>○基本的な文構造、時制（現在形・過去形）、助動詞、進行形、不定詞の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。</li> </ul>	
2 学期	Lesson5～Lesson10			<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じ愛媛県の高校生の、興味を持ったことから困難を乗り越え、将来に向けて成長をしていく姿を通して、自分の興味のあることを考え、将来に目を向ける。</li> <li>○浮世絵の魅力を読み取る。</li> <li>○アンネの生き方を通して、ウィズコロナ時代を生きるヒントを読み取る。</li> </ul>	
3 学期	Reading1, 2			<ul style="list-style-type: none"> <li>○疑問文の読み方や強勢（アクセント）に注意しながら音読ができる。</li> <li>○登場人物の気持ちを考えながらセリフを音読できる。</li> </ul>	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習 アド バイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</li> <li>○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、基本本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。</li> </ul>				

# SYLLABUS ( 英語コミュニケーションⅡ )

単位数	2	履修学年	2年	履修学科	普通科Ⅰ型
使用教科書	All Aboard! English CommunicationⅡ ( 東京書籍 )				
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身につける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Pre-Lesson1～Lesson2			○英語学習、外国の生活や文化に関する文章を読み、知識を深める。 ○関係代名詞、比較の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。	
2 学期	Lesson3～Lesson4			○ワイルドマンの世界を理解する。 ○it の用法、関節疑問文について理解する。	
3 学期	Lesson5			○歌舞伎メイクについて学ぶ。 ○to 不定詞を含む表現について理解する。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動</li> <li>ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習 アド バイス	<p>○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</p> <p>○家庭学習 ( 予習・復習 ) 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。</p>				

# SYLLABUS ( 英語コミュニケーションⅡ )

単位数	4	履修学年	2年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書	MY WAY English Communication Ⅱ ( 三省堂 )				
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身につける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Lesson1～Lesson3			<ul style="list-style-type: none"> <li>○各国のダンスの起源を学ぶ過程で、その国の歴史や文化を知る。</li> <li>○桂三輝さんの落語に対する姿勢や、彼の学びから、我々の生き方を考える。</li> <li>○野生動物保護問題を身近に考える。</li> </ul>	
2 学期	Lesson4～Lesson8			<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文のあらすじを正確に理解する。</li> <li>○知覚動詞・使役動詞、関係代名詞、助動詞、分詞構文の発展的な用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。</li> </ul>	
3 学期	Lesson9～Lesson10			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホセ・ムヒカさんの演説を通して、自分にとっての「幸せ」を考え、それを達成するために自らが取り組める行動について具体的に考える。</li> <li>○e-sports についての発表活動を通して内容の進化を図るとともに、プレゼンテーションのスキルを身につける。</li> </ul>	
評 価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能		英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現		情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。		
主体的に学習に取り組む態度		英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
学習 アド バイス	<p>○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</p> <p>○家庭学習 ( 予習・復習 ) 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声を出して本文を読んだり、基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。単語帳を有効に活用し、語彙力を増やしましょう。</p>				

SYLLABUS ( 英語コミュニケーションⅡ )

単位数	2	履修学年	2年	履修学科	工業科
使用教科書	All Aboard! English CommunicationⅡ ( 東京書籍 )				
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身につける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	Pre-Lesson1～Lesson2  Word Box① Let' s listen①			○外国事情や文化に関する文章を読み、知識を深める。 ○関係代名詞、比較の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。 ○感情を表す単語について学習する。 ○日常会話を聞き、その状況を把握する。	
2学期	Communication1 文法のまとめ① Lesson3, Lesson4 Let' s listen② Word Box②			○日常生活で使う英語を使って、ペアワークを行う。 ○演習を通して、既習内容を復習する。 ○異文化の風習や動物の生態について理解を深める。 ○it の用法や間接疑問文の用法を理解する。 ○日常でよく使う単語について学習する。	
3学期	Lesson5  Word Box③ Reading 1 文法のまとめ②			○歌舞伎メイクのおもしろさを読み取るとともに、日本の伝統文化について学ぶ。 ○to 不定詞の意味上の主語について理解を深め、平易な文を書いたり、話したりして表現する。 ○身近な単語について学習する。  ○精読を通して、登場人物の心情を読み取る。 ○演習を通して、既習内容を復習する。	
評価	観点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	<p>○<b>授業の取組</b> 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</p> <p>○<b>家庭学習 (予習・復習)</b> 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。</p>				

# SYLLABUS ( 英語コミュニケーションⅡ )

単位数	2	履修学年	3年	履修学科	普通科Ⅰ型・工業科
使用教科書	All Aboard! English CommunicationⅡ ( 東京書籍 )				
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身につける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	Lesson 6 ~ Lesson 7			<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統野菜について学ぶ。 動詞の目的語になる if 節を学習する。</li> <li>○アートによる世界をつながり学ぶ。 関係副詞 I を理解する。</li> </ul>	
2学期	Lesson 8 ~ Lesson 9			<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然のデザインについて学ぶ。 知覚動詞を理解する。</li> <li>○甘いチョコレートの苦い現実を学ぶ。 使役動詞を理解する。</li> </ul>	
3学期	Lesson 10			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ナイチンゲールについて知る。 分詞構文を理解する。</li> </ul>	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</li> <li>○家庭学習 ( 予習・復習 ) 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。</li> </ul>				

# SYLLABUS ( 英語コミュニケーションⅢ )

単位数	4	履修学年	3年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書	MY WAY English CommunicationⅢ ( 三省堂 )				
学習の目標	日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読んだり聞いたり、考えや情報を論理的に話して伝えたり、書いて伝えるなど、統合的な言語運用能力を身に付ける		授業の概要	各課の本文の必要な情報を読み取り、論理の展開や要点を把握しながら内容を理解したり、自分の考えなどを表現する。また、文法事項など実際のコミュニケーションにおいて必要な技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Strategy for Listening & Reading 1～8  Lesson1～Lesson3  Writing skills①			○様々な話題について情報を聞き取ったり、論理の展開を把握する。  ○異文化理解、食(SDGs)、科学、についての記事等読んで理解を深め、考えや意見を述べる。  ○英語でのメールの書き方を学び、メール文を作成する。	
2 学期	Lesson4～Lesson9  Speaking skills②			○伝統文化、言語・歴史、異文化、環境(SDGs)、日常生活、犬税などに関する記事やプレゼンテーションを通して、理解を深め、考えや意見を他と共有する。  ○英語によるプレゼンテーションの技量を学ぶ。	
3 学期	Lesson9, Lesson10			○引き続き犬税について考える。宇宙開発の必要性について、自分の立場を表明し、考えや意見を述べる。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習 アド バイス	<p>○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習) 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。</p>				

# SYLLABUS (論理・表現Ⅰ)

単位数	2	履修学年	1年	履修学科	普通科
使用教科書	VISTA Logic and Expression Ⅰ (三省堂)				
学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。事実や意見などを多様な観点から考察し、表現の方法を工夫しながら伝える能力を身に付ける。			授業の概要	基本表現を繰り返し練習し、実用的な英語表現を身に付ける。ALT との活動を通して既習表現をより実践的なものにする。
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Lesson 1 ～ Lesson 6			<ul style="list-style-type: none"> <li>○「クラブ活動」や「高校でしてみたいこと」などについての表現を習得する。</li> <li>○紹介したい「歴史上の人物」や「夏休みの予定」について、自分の考えや気持ち、情報などをまとめ、発表して表現する。</li> <li>○「今していること」や「過去にしていたこと」「自分が経験したこと」についての表現を理解する。</li> <li>○「完了したこと」や「継続していること」などについての表現を理解する。</li> </ul>	
2 学期	Lesson 7 ～ Lesson 12			<ul style="list-style-type: none"> <li>○「いろいろなものの比較」や「環境問題」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</li> <li>○紹介したい「発明品」や「芸術作品」「世界遺産」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</li> <li>○「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などをまとめ、発表して表現することができる。</li> </ul>	
3 学期	Lesson 13 ～ Lesson 15			<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ピクトグラム」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</li> <li>○紹介したい「日本文化」について自分の考えや気落ち、情報などをまとめ、発表して表現することができる。</li> <li>○「SDGs」についての表現を理解して、考えを深めることができる。すいろいろなものの比較」や「環境問題」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</li> </ul>	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動</li> <li>・ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	<p>○<b>授業の取組</b> 基本表現を確認したのち、練習問題や言語活動を通して、日常なことや自分自身のことを英語で表現する力を身に付けましょう。英語によるコミュニケーションを積極的に行いましょう。</p> <p>○<b>家庭学習 (予習・復習)</b> 予習として本文に記載されている基本的な語彙、重要表現を辞書で確認して授業に臨みましょう。また、授業中は板書以外でもメモを取る等、各自工夫して学習に取り組みましょう。学習内容を定着させるため、習ったことはその日のうちに繰り返し書いたり読んだりして復習しましょう。</p>				



# SYLLABUS (論理・表現Ⅱ)

単位数	2	履修学年	2年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅱ (三省堂)				
学習の目標	学校や家庭、地域等様々な場面での会話に効果的な表現を積極的に身に付け、場面や状況に応じて、意欲的に表現できるようにする。また、スピーチ等発表にも積極的に取り組めるようにする。		授業の概要	各課の対話文で用いられる表現とともに、その中で必要な文法事項や構文等の基礎を理解し、多様な表現を身に付ける。また、その知識や技術を用いて、情報や考え、気持ち等を積極的に伝える活動を行い、相手に自分の気持ちや意見を意欲的に伝える姿勢を身に付ける。	
学 習 計 画			到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Lesson 1～Lesson 4		経験についての会話 現在完了形 1、過去完了形 2 好きな場所を紹介する発表 未来を表す表現 週末の予定についての会話 助動詞 used to、should など 助動詞+have+過去分詞、be 動詞+to 不定詞 印象深い授業についての会話 受動態、不定詞 1 日本の文化についての会話 不定詞 2、知覚動詞、使役動詞		
2 学期	Lesson 5～Lesson 9		科学技術についての会話 分詞構文、with+O+分詞 大きさなどを身近なものに例える 比較 1、比較 2 火星についての会話 関係代名詞、関係副詞 1、関係副詞 2 旅行に行く友だちとの会話 仮定法 悩み事を伝える会話 否定の表現、代名詞を使った表現		
3 学期	Lesson 10～Basic Skills		科学技術についての会話 分詞構文、with+O+分詞 大きさなどを身近なものに例える 比較 1、比較 2 火星についての会話 関係代名詞、関係副詞 1、関係副詞 2 旅行に行く友だちとの会話 仮定法 悩み事を伝える会話否定の表現、代名詞を使った表現		
評 価	観 点	評価の観点の趣旨		評価項目	
	知識・技能	基本的な文法事項を積極的に身に付け、実際のコミュニケーションに活用できる技能を身に付けている。		・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ・ペアワーク、グループワーク、発表、小テスト等 ・提出物の内容	
	思考・判断・表現	伝える内容を整理し、英語で書いたり話したりして、要点や意図などを明確にしなが、情報や考えを適切に表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度	身の周りのことを英語で表現することに興味を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	○授業の取組 各レッスン、パートともに、モデル文(“Conversation”, “passage”)の内容や文法事項・重要表現を意識しながら、“Useful Expressions”と“Grammar for Speaking and Writing”を確認し表現を身に付けましょう。 ○家庭学習(予習・復習) モデル文(“Conversation”, “passage”)と、“Grammar for Speaking and Writing”をノートに書き写し、授業でポイントを書き込む準備をしましょう。また、“Exercise”を英文全体を書き写しながら前もって解いて授業に臨み、正しい表現を身に付けましょう。週 1 回の小テストに全力で臨み、英語力を向上させましょう。				

# SYLLABUS (論理・表現Ⅱ)

単位数	2	履修学年	3年	履修学科	普通科Ⅰ型(選択)
使用教科書	VISTA Logic and Expression (三省堂)				
学習の目標	「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の3領域を中心とした基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、聞いたり、読んだりして得た情報や考えなどを、論理的に発信できるような思考力・判断力・表現力を身につける。		授業の概要	各 Lesson の本文やその内容を理解し、1年次に学習した文法事項を復習しながらさらに理解を深める。ペアワークやグループ活動、プレゼンテーションを通して、相手の考えを尊重しながら、自分の考えを平易な英語で表現する力を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	Lesson 1 ～Lesson 3			<ul style="list-style-type: none"> <li>○人物を描写する方法を学ぶ。平易な英語でスピーチ原稿を作り、発表する。</li> <li>○宇宙旅行に行くために、自分が宇宙で体験したいことを応募フォームに書く。</li> <li>○道を尋ねる時や道案内をする時に役立つ単語や表現を学ぶ。</li> </ul>	
2学期	Lesson 4 ～Lesson 7			<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光地として人気が高い世界のおすすめスポットを学び、自分の推薦するスポットのポスターを作成する。</li> <li>○英語で書かれた求人広告の中から必要な情報を読み取り、自分がなりたい職業を発表する。</li> <li>○役に立つロボットコンテストに応募するためのエントリーシートを作成する。</li> <li>○自分が好きな和食のレシピを書いて外国の人に紹介する。</li> </ul>	
3学期	Lesson 8 ～Lesson 10			<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語の賃貸アパートの広告を見て、部屋の特徴を知るところから理解を深めていく。</li> <li>○生物の驚きの能力とそれを活かして生まれた製品や技術を紹介する。</li> <li>○SDGs の目標について理解を深めながら、身の回りの社会問題やその解決策について考え紹介する。</li> </ul>	
評価	観点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の取組 ペアワーク グループワーク プレゼンテーション</li> <li>・提出物の状況</li> </ul>
	思考・判断・表現	自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度	自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。				
学習アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の取組 授業に対して真剣な態度で取り組み、学習内容を反復し練習することで、自分の考えを平易な英語で表現できるようにする。</li> <li>○家庭学習(予習・復習) 本文中の新出単語や表現を辞書を用いて確認し授業にのぞむようにする。重要表現を中心に毎日復習するようにする。</li> </ul>				

# SYLLABUS (論理・表現Ⅲ)

単位数	2	履修学年	3年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書	MY WAY Logic and ExpressionⅢ (三省堂)				
学習の目標	日常的な話題について、使用する文や語句、事前の準備などにおいて自分で多様な文や語句を場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫して複数の段落からなる文章で伝えるようにする。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。その知識を用いて情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。また、発表活動、質疑応答も行う。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	Unit1 Lesson1～Lesson8			<p>○動詞の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて自分のことについて適切に言ったり書いたりすることができる。</p> <p>○不定詞・動名詞、助動詞、分詞、関係詞、仮定法を用いて、段階的な手順を踏みながら、自分の提案や考えを効果的な理由や内容とともに詳しく書くことができる。</p>	
2学期	Unit1 Lesson9～Unit2 Lesson5			<p>○名詞・代名詞、前置詞・接続詞を用いて、身近なものごとや社会的なできごとについて複数の文を適切に言ったり書いたりすることができる。</p> <p>○お互いに理解できるように、教科書の題材(ホームステイや入国審査など)を理解するための多様な文や語句を、目的や状況などに応じて、情報や考えを伝え合う技能を身に付けている。</p>	
3学期	Unit2 Lesson6～Lesson10			<p>○教科書の題材(チケット購入や、病院での病状の伝え方など)に必要な表現の意味や働きを理解し、多様な語句や文を目的や状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを整理して伝え合う技能を身に付ける。</p>	
評価	観点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	慣用表現や文法事項を言語活動を関連付け、実際のコミュニケーションに活用できる技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・定期考査の成績</li> <li>・授業中の諸活動</li> <li>・ペアワーク、グループワーク、発表など</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	思考・判断・表現	伝える内容を整理し、英語で書いたり話したりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や考えを適切に表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	<p>○授業の取組 集中して授業に取り組み、Useful Expressionを中心とした重要表現を身に付けましょう。それぞれのトピックを英語で表現するための論理的な文章構成をつくる力を身に付けましょう。</p> <p>○家庭学習(予習・復習) それぞれのトピックを英語で表現するための英文法はすべて2年次までに学習が終了しているため、復習をしてから授業に臨みましょう。復習としては、自分の身近なことや社会的なできごとについても一度文章を書いてみましょう。</p>				